令和７年度　小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業補助金　事業計画書

※手書き不可

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 企業名 |  | | |
| 事業計画名 |  | | |
| 事業実施期間 | 開始日：交付決定の日　～　完了日：令和　　年　　月　　日 | | |
| 補助対象経費※1 | 円 | 補助金交付申請額※2 | 円 |

（※１様式3-4から転記ください）

（※２様式3-4から転記ください。なお、補助対象経費の2/3又は200万円のいずれか低い方、千円未満切り捨て）

【事業計画】

|  |
| --- |
| １．企業概要  （自社の主要な事業と現状(課題等に触れ)、企業として目指す姿について記載ください） |
|  |
| ２．製品開発の概要  （補助対象となる製品開発の取組内容の概要と、目標(今回の補助事業期間終了時点における製品開発の到達目標)を記載ください。 |
| ①取組内容の概要  ②目標 |
| ３．製品開発の特徴  （３Ｃ分析から特徴を記載ください） |
| ①Customer（顧客）  （製品を利用する顧客(顕在・潜在)はどんな人なのか。顧客数や地域構成などの市場規模や市場の将来性はどうなっていくのかを記載ください） |
|  |
| ②Competitor（競合）  （現在、競争状態の場合には、競争相手はどんな製品を提供しているのかを記載ください） |
|  |
| ③Company（自社）  （自社の売上高や市場シェア、ブランドイメージ、技術力はどれくらいのものなのか。自社の経営資源はどんな特性があって、どの程度の量があるのかを記載ください） |
|  |
| ４．製品開発の課題  （３C分析を踏まえて想定される課題を記載ください） |
|  |
| ５．製品開発の取組内容  （上記４の課題の解決に向けて、本補助事業においてどのような取組を行うのか、具体的に記載ください。なお、今回の補助事業期間内で製品開発が終了しない場合には、全体的な製品開発スケジュールを記載ください） |
| ①本補助事業で実施する取組（補助対象期間内に実施する取組）  ②全体的な製品開発スケジュール（補助対象期間終了後に実施する取組）  ※製品開発が補助事業期間内に終了しない場合のみ記載 |
| ６．製品開発の実施体制  （実施体制を下表を参考に内容・役割(取組内容・担当者・外部関連者等)を具体的に記載ください。なお、下表に書き切れない場合には、別紙添付は可能です） |
| |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  |  | 申請者 | 外部関連者 | | 実　施　内　容 | 本事業計画書の「5-①本補助事業で実施する取組」と同一の内容を記載 | 企業名等 | 企業名等 | | １．〇〇の企画・設計 | 仕様・図面の作成 |  | | ２．試作機の作成 | 各備品の組立 | C社(外部委託先）  ・～部分の作成 | | ３．試作機の稼働実験 | ・試験稼働  ・データ収集 | D社(協力販売先等)  ・試作品の評価 | |
| ７．製品開発スケジュールおよび予算  （別紙「事業スケジュール(様式3-2)」、「補助対象経費積算書(様式3-3)」および「経費配分書(様式3-4)」のとおり） |
| ８．補助事業終了後のビジネスプラン  （今回の補助事業終了後の事業展開について、製品開発の継続や開発製品の販売等のスケジュールを記載ください。なお、販売開始時期・価格・販売先や売上目標等では下表に記載ください） |
| |  |  | | --- | --- | | 販売開始時期 |  | | 予定価格 |  | | 販売先 |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | １年目（　　　年度） | ２年目（　　　年度） | ３年目（　　　年度） | | 売上高 |  |  |  | | 計画  ・  目論見 |  |  |  | |
| ９．加点要素  （「市民生活」への貢献度・ゼロカーボンに資する案件・バリアフリー化に資する案件・介護機器関連の案件に該当する場合は、その内容を具体的に記載ください） |
|  |